

愛知県民主医療機関連合
会長 早川純午様

愛知県民主医療機関連合 公開質問状へのご回答

2021年4月6日

尾形慶子

1. 医療・介護に関すること

(1) 国保料の引き下げについて

一般会計から財源を繰り入れて、払える額に国保料を引き下げます。

(2) 介護保険料について

コロナ禍で収入が減った人向けに、名古屋市独自の減免制度が必要です。

(3) 市立病院がなくなることについて

コロナ禍のさなかに大学病院への移管を行ってはなりません。一般会計からの補助を継続して、名古屋市立の病院を維持します。

(4) 特養の待機者解消と厚生院の存続について

年金で入れる特別養護老人ホームを増やします。医療と介護がおなじ敷地にある厚生院を存続します。病院を独立行政法人にする際に、特養を廃止することには反対です。

(5) 介護認定業務を市直営に戻すことについて

認定業務を民間委託したことで認定に係る期間が長くなっています。市として責任を持って介護に対応できるよう直営に戻すべきです。

(6) コロナ禍における医療機関等への減収補填について

命をかけてコロナと闘う医療機関ほど、減収は深刻です。医療崩壊を食い止めるために、減収補填を行い、危険手当の導入を検討します。

(7) コロナ禍収束までの医療機関への補助金継続について

医療現場は、コロナ以前から医師・看護師不足でしたが、今後も感染症が繰り返し社会を襲うことを念頭に、補助金を継続し長期的に医療強化をはかります。

(8) 医療機関・介護事業所職員への定期的なPCR検査について

集団感染のリスクが高いこれらの施設では定期的な検査を行うことが絶対に必要です。

(9) 医療機関・介護事業所職員へのコロナワクチン確保

医療・介護施設の職員だけではなく、デイサービス・訪問介護などにも、ワクチンを優先すべきです。

2. 敬老パスの利用回数制限

敬老パスの利用回数を制限せず、積極的な利用を呼びかけます。お年寄りには、出歩くことが介護予防につながります。また、二酸化炭素排出削減のためにも、車を使わず公共交通機関の利用を促進する必要があります。 以上